

## 「体験は最良の学び」

校長 野上 浩資

紫陽花が美しく彩りを添える季節を迎えました。4月から早くも2か月半がたちました。入学当初は緊張した面持ちであった1年生は、中学校での生活にもすっかり慣れて、授業や部活動などに各々のペースで前向きに取り組んでいます。

また、2・3年生は、それぞれ中堅学年、最高学年としての自覚が随所に見られ、日々感心しています。

さて、先月から今月にかけて、2年生の校外学習と3年生の修学旅行を実施しました。

2年生の校外学習は、横浜市中心部での班別行動でした。各班で協力し主体的に行動する様子を見て取ることができました。それから、ただ見学するだけではなく、テーマを設定し目的をもって現地調査を取り入れるなど、班行動の質の高さにも感心しました。事後学習のまとめでは、テーマについて横浜市と船橋市を比較検討し、船橋市がよりよくなるための提案もあり探求的な学びに広がっていました。

3年生の修学旅行は、昨年度の北陸地方（石川県）から変更し、長野・岐阜方面に行きました。好天に恵まれた3日間は大変有意義なものとなり、大きな事故やけがもなく無事に終えることができました。1日目の上高地は雪溪の山々や美しい緑の木々、澄み切った川の流れなど、雄大な景色が今も鮮明に思い出されます。2日目の高山市では、班に分かれ、テーマに沿って探求学習を行いました。テーマの例としては、飛騨高山の歴史（建造物、町並み）、社会問題（人口減）、産業（観光業の課題→官民の対策）、自然（植物）、船橋市と高山市の比較等、深く学びながら現地の魅力を十分に堪能する1日となりました。寝食を共にした級友との時間も、忘れがたい大切な思い出になったことでしょう。

校外学習と修学旅行は、どちらもその目的が「生徒の主体性と探究心の育成」である点で共通しており、それは、本校で取り組んでいる「授業改善」においても同様です。今月末に予定されている、1学年の校外学習（木更津クルックフィールド）も、同じように今後を見据えて準備が進められています。今回の、それぞれの行事の成功は、日頃の授業の積み重ねが土台となり、体験活動を通してその成果がいかに発揮された結果であると言っても過言ではありません。まさに、「体験は最良の学び」です。活動を終えた時の、生徒の充実感に満ちた表情が非常に印象的であり、何より、確かな成長を物語っているように思いました。

今後の教育活動におきましても、生徒の成長に資する充実した取組を心掛けてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

### 【生徒総会兼前期任命式】

5月22日（水）に生徒総会兼前期任命式がオンラインで生徒会を中心に行われました。前期任命式では、前期専門委員長が校長先生から任命状を受け取りました。生徒総会では議案書をもとに生徒会活動について話がありました。質疑応答では、多くの質問があり、生徒の学校に対する関心の高さが伝わりました。中学校生活の中心人物は生徒自身です。学校生活をより明るく、楽しいものにするために、一人ひとりが生徒会の一員であることを自覚して、より良い学校をつくっていきましょう。



### 【3年生・修学旅行（長野・岐阜方面）】

6月12日（水）～6月14日（金）の日程で、昨年度の北陸地方（石川県）から変更し、長野・岐阜方面に行きました。修学旅行実行委員が中心となって準備し、当日はどの生徒もクラス別活動や班別行動を通して主体的に取り組みました。修学旅行中は天候にも恵まれ、上高地では自然の美しさを堪能し、飛騨高山方面では各班がテーマに沿って現地調査しました。様々な体験や探究学習を通して、充実した思い出深い修学旅行となりました。



河童橋で自然を満喫



レトロミュージアムでタイムスリップ



有名なアニメ映画の聖地を訪問

### 【教育委員会より】

「特別支援教育就学奨励費」について

「特別支援教育就学奨励費」は、特別支援学級等に通う児童生徒や通常学級に通う障害のある児童生徒の保護者に対して、給食費・通学費・学用品費などの必要な経費の一部を援助する制度です。希望する方は、学校に用意してある「特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書 兼 同意書」に必要事項を記入し必要書類を添付して、7月19日（金）までに学校（事務室）へ提出してください。

（問い合わせ：教育委員会 学務課 047-436-2852）